

# 一般質問

一般質問とは、市の事務や市が抱える課題等について市長などにたずねるもので、6月定例会では20名の議員が一般質問を行いました。  
 ここでは、議会広報委員会が事項別に整理した内容の一部を掲載しています。  
 一般質問の全文は、8月下旬作成予定の議会記録を図書館や鎌倉市議会ホームページ内「会議録検索システム」でご覧ください。

## 民泊について

平成30年6月15日施行の住宅宿泊事業法(いわゆる民泊新法)への対応について、次の質問が行われました。

質問：民泊についての周知を市としてどのようにしていくのか。

共創計画部長：ホームページに民泊のコーナーを作成し、相談窓口を周知するとともに、制度の紹介やよくある質問などを載せていく。指揮監督権が県にあることから県と市の役割の明確化も図っていききたい。

質問：相談窓口はどこか。相談の増加が予想されるがどのように対応していくのか。

同部長：市民に身近な場所ですっきりと対応することが必要と認識している。市民相談課が窓口となり、苦情や相談の対応を行っている。庁内で情報を共有し、連携を図るとともに、県鎌倉保健福祉事務所を中心とした地域連絡会で管内市町、警察などと連携し、しっかりと対応していきたい。

質問：民泊施設について周辺住民への周知はどのようにするのか。

同部長：県の「住宅宿泊事業

## 子どもの安全について

子どもの安全・安心に関する視点から、次の質問が行われました。

質問：本市では、本年5月末時点で16件の不審者情報事案があるが、本市の治安状況について聞きたい。

防災安全部長：県警察が公表している刑法犯の認知件数によれば、人口千人当たりの件数を比較すると、本市は、県下で一位、二位を争う少ない件数となっている。

質問：昨年、他市において、子どもの登下校中における事件・事故の報道があったが、本市における、登下校時の見守り活動等の取り組み状況を聞きたい。

同部長：現在、警察OB3名による防犯アドバイザーが各種防犯活動を行っており、小学校の下校時に正門での見守りや、付近のパトロール活動を日々行っている。また、約70の自治・町内会で登下校時における子ども

の見守り活動を行っている。質問：他市で発生した子どもの登下校中における事件・事故を踏まえ、市立小・中学校に対して、どのような指導を行っているのか。

教育部長：5月11日に市立小・中学校に「登下校の安全指導」という文書を送付している。この文書を受け、学校では事件に巻き込まれないための対策として、児童・生徒には、「不審な人や車を見かけたらその場から離れすぐに大人に知らせること」「防犯ブザーの点検」などを指導している。さらに、教職員に対しては、不審者情報の迅速な報告体制や、地域との連携体制について再確認した。

質問：子どもの通学路の死角となる場所をカバーするような方策として、見守りベンチを設置し、高齢者のボランティアなどに座ってもらう、見守りをするような

取り組みが有効であると考えられるが、いかがか。

防災安全部長：見守りベンチについては、人目があることで犯罪の抑止につながり、一定の効果があるものと考えているが、狭い道路が多い本市では、設置場所の検討や地域住民の協力などの課題がある。他市の事例を踏まえて研究していきたい。

質問：東京都では本年度中に全ての小学校の通学路に防犯カメラを設置するとのことであるが、子どもたちの安全確保のためにも通学路への防犯カメラの設置は必要と考えるが、いかがか。

教育部長：防犯カメラの設置は、犯罪の抑止や事件の解決等に対し有効なものであると認識している。引き続き地域や関係機関と連携しながら、子どもたちの安全・安心を確保する環境づくりを進めていきたい。

質問：先日、深沢小学校の校庭で、鎌倉市交通安全対策協議会主催の小学生を対象とした自転車安全利用の講習会が開催された。このような講習会をより多くの子どもたちに受けてもらい、子どもたちの安全を守るために必要な交通ルールの周知徹底に努めてもらいたいと考えているが、いかがか。

防災安全部長：本市では毎年、小学生とその保護者を対象とした自転車教室を開催し、自転車の交通ルールやマナーの指導を行っている。今後も鎌倉、大船の両警察と連携して、自転車の交通ルールのマナー向上に向け、さまざまな機会を捉えて周知啓発に努めていきたい。

境の悪化、トラブルなどさまざまな弊害が危惧されていると考える。住宅専用地域において、家主居住型民泊(※)は良いと考えるがそれ以外の民泊については、ある程度制限すべきと考えており、市民生活に影響が出ないよう条例の改正を県に求めていき、相談窓口の周知や市民に寄り添った相談対応など市としてできることを充実させていきたい。

※「家主居住型民泊」：民泊の事業者が同じ住宅内に住んでいて住宅の一部を貸し出す民泊

## 一般質問項目一覧

- ① 日向 慎吾 (鎌夢会)
  - 1 海の取り組みと津波対策について
  - 2 マイナンバー制度の活用について
  - 3 民泊新法への対応と安心安全の確保について
- ② 池田 実 (鎌倉みらい)
  - 1 安全安心なまちづくりについて
  - 2 深沢地域のまちづくりについて
  - 3 健康寿命の延伸施策について
- ③ 安立 奈穂 (神奈川ネット鎌倉)
  - 1 空き家対策について
  - 2 高齢者・ひとり親世帯等への住宅確保の支援について
- ④ 高橋 浩司 (鎌夢会)
  - 1 外国籍住民に関する諸課題について
- ⑤ 長嶋 竜弘 (無所属)
  - 1 鎌倉市政に異論反論オブジェクションVOL.3
- ⑥ 納所 輝次 (公明党)
  - 1 LGBT等、多様性を認め合う差別のない社会のあり方について
  - 2 2020東京オリンピック・パラリンピックへの取り組みについて
- ⑦ 保坂 令子 (神奈川ネット鎌倉)
  - 1 防災、特に災害発生時の支援について

- 2 本庁舎整備に向けた取り組み、特に現在地への集約化が想定される施設について
- 3 協働の新たなスタイルとまちづくりについて
- ⑧ 森 功一 (自民党鎌倉市議団)
  - 1 土砂災害対策について
  - 2 社会インフラの維持整備について
  - 3 小学校通学路への防犯カメラ設置について
  - 4 基幹業務システムのオープン化について
  - 5 民泊について
- ⑨ 松中 健治 (無所属)
  - 1 財政と人件費
  - 2 市有財産管理
  - 3 災害と風致、歴史
  - 4 インフラ整備
  - 5 まちづくり
  - 6 文化財行政
  - 7 明治150年
- ⑩ 志田 一宏 (自民党鎌倉市議団)
  - 1 子供を守る環境について
- ⑪ 吉岡 和江 (日本共産党)
  - 1 共生社会と福祉・暮らし・健康づくりの充実について
- ⑫ 大石 和久 (公明党)
  - 1 松尾市政の8年間を振り返って
- ⑬ 河村 琢磨 (ヴィジョン)
  - 1 RPAによる行財政改革推進事業について

- 2 組織内CSIRT(シーサート)の設置について
- 3 障がい者ワークステーションと障害者福祉施策について
- 4 8050問題から考える今後の地域福祉のあり方について
- 5 グリーフサポートの展開と必要性について
- ⑭ 千 一 (無所属)
  - 1 鎌倉駅西口から中央図書館及び福祉センターまでの点字ブロックの設置について
  - 2 5月26日の福山市での側溝転落事故は鎌倉市でも起こりうること障がい者差別解消法の施行から1年
  - 3 鎌倉市立の中学生の学力は優秀だが不登校が多いことについて
  - 4 肢体不自由の特別支援学級をもっと多く
  - 5 身体障がい者を中心としたグループホームの設置を早く
  - 6 障がい者施設殺傷事件からまもなく2年
- ⑮ 前川 綾子 (鎌倉みらい)
  - 1 鎌倉の緑について
  - 2 障害者雇用について
- ⑯ 飯野 眞毅 (無所属)
  - 1 人口統計とその対策について
  - 2 道路行政について
  - 3 防災対策について

- 4 まちづくりについて
- 5 公園行政について
- 6 居場所づくりについて
- ⑰ 西岡 幸子 (公明党)
  - 1 乳ガン対策について
  - 2 ごみ処理行政について
- ⑱ 高野 洋一 (日本共産党)
  - ※監査委員就任に伴い、議会の申し合わせにより取り下げ
- ⑲ 竹田 ゆかり (無所属)
  - 1 旧優生保護法下における強制不妊手術について
  - 2 学校の働き方改革について
  - 3 北鎌倉隧道問題について
- ⑳ 武野 裕子 (日本共産党)
  - 1 市役所移転に関する「広報かまくら」5月1日号について
  - 2 私道の安全対策について
- ㉑ くりはら えりこ (無所属)
  - 1 鎌倉市に山積する問題について
  - 2 市民からの意見の取り入れ方と取り扱い方について
  - 3 市民合意の取り方について
  - 4 政策形成・政策実施・政策評価と行政の説明責任について
  - 5 行政文書の作成と情報公開請求の情報の出し方について
  - 6 道路、文化財、資源としての隧道について